

「ぷらすとす」 INFORMATION
投稿規定・執筆要領・原稿見本

<2018年1月1日 制定>

一般社団法人 日本塑性加工学会
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-13-11 Y・S・Kビル4階

電話 (03) 3435-8301

Fax (03) 5733-3730

本冊子は、「ぷらすとす」のINFORMATION欄への投稿規定および執筆要領についてまとめたものです。論文系原稿及び解説系原稿のそれらについては、別冊の「塑性と加工」論文系原稿投稿規定・執筆要領、及び「ぷらすとす」解説系原稿投稿規定・執筆要領をそれぞれご覧ください。

「ぷらすとす」INFORMATION投稿規定・執筆要領・原稿見本目次

投稿規定

1. 投稿資格	・・・2
2. 原稿の責任	・・・2
3. INFORMATION原稿の種別と内容	・・・2
4. 原稿の形式	・・・2
5. 原稿の提出, 校正・審査	・・・2
6. 掲載料	・・・2
別 表	・・・3

執筆要領	・・・4
------	------

付録(原稿見本)

付録1. 塑性加工シンポジウム等企画委員会等企画行事案内	・・・5
付録2. 支部, 分科会等行事案内	・・・6
付録3. 出版物等販売案内	・・・7
付録4. 教員等任材募集原稿見本	・・・8
付録5. 企業技術者・研究者公募原稿見本	・・・9

【改訂履歴】

2018.1.1 制定

「ぷらすとす」 INFORMATION投稿規定

一般社団法人 日本塑性加工学会

本規定は、日本塑性加工学会会報誌「ぷらすとす」のINFORMATION欄へ記事を投稿する場合の諸規則を示したものである。

1. 投稿資格

日本塑性加工学会の本部、各委員会、支部あるいは分科会等の学会内組織、あるいは賛助会員、正会員、学生会員および名誉会員は本学会報誌「ぷらすとす」INFORMATION欄に記事を投稿することができる。

2. 原稿の責任

- 2.1 会報誌に投稿された記事の内容についての責任は著者が負う。
- 2.2 会報誌に掲載された記事の著作権は、本会に属する。ただし、著者自身の利用は妨げない。

3. INFORMATION原稿の種別と内容

- 3.1 会報誌に掲載する記事は、本会に関連した内容であるものとする。
- 3.2 INFORMATION原稿は別表に示すものに分類される。

4. 原稿の形式

原稿は本投稿規定・執筆要領および原稿見本に従って書く。

5. 原稿の提出、校正・審査

- 5.1 原稿は本学会報誌編集委員会あてに、「Wordファイル」を提出する。
- 5.2 原稿の締め切りは別表の通りとする。
- 5.3 掲載の可否は会報誌編集委員会が決定する。なお、不採択と決定した場合には理由を付して著者に通達する。
- 5.4 会報誌編集委員会は提出された原稿に対し、内容および体裁の照会を行うほか、訂正、短縮あるいは加筆をもとめることがある。これらを求められた場合、指定の期日までに訂正を行って再提出する。

6. 掲載料

掲載料は別表に示す通りとする。

別表 原稿の分類, 内容, 締め切り日および掲載料

No.	項目名	内容	締切日	掲載料
1	企画行事予定表	学会(分科会, 支部, 地区委員会等を含む)が主催または共催する行事名(具体的なテーマを含む)とその開催期日, 開催場所を掲載する. なお細目(プログラム等)が未定でも行事名と期日, 場所が決定した段階で掲載する.	掲載号発行の前月の10日	無料
2	会告	学会方針の決定事項の周知徹底をはかる通達等. 総会, 春季講演会, 連合講演会の案内等.		無料
3	主催, 共催行事	本部が主催または共催する各種行事の案内. 主催, 共催の順とし, 各々のなかでは開催期日順とする. また, 主題を見出しで明示する.		1/2ページ5,000円/件 1ページ10,000円/件
4	支部から	支部総会および行事の案内で, 主催, 共催行事の案内に準ずる.		1/2ページ5,000円/件 1ページ10,000円/件
5	分科会・研究委員会から	各分科会・研究委員会が開催する行事の案内, お知らせ等.		1/2ページ5,000円/件 1ページ10,000円/件
6	委員会から	出版事業委員会からの出版物のお知らせ, 会報誌編集委員会からの原稿公募, 特集号の予告, その他のお知らせ, 呼びかけ等.		1/2ページ5,000円/件 1ページ10,000円/件
7	協賛行事	本会が協賛, 後援する行事の案内.		無料
8	大学等が主催する講演会	大学等が主催する講演会の中で塑性加工に関わるもの.		1/2ページ5,000円/件 1ページ10,000円/件
9	教員および企業技術者・研究者等人材募集	学校, 公益法人, 官公庁およびその研究機関等の教員, 企業の塑性加工関連技術者・研究者等人材募集.		1/4ページ15,000円/件 1/2ページ30,000円/件 1ページ60,000円/件
10	事務局から	新入会員(所属), 新入賛助会員(代表者名), 会員計報等.		無料
11	会議室予定	学会会議室の使用状況を知らせる. 発行翌月と翌々月の2ヶ月分(予定)を掲載する.		無料
12	その他	本会の動きを伝える事項.	掲載号発行の前月の月末	別途定める

「ぷらすとす」 INFORMATION執筆要領

一般社団法人 日本塑性加工学会

本要領は、日本塑性加工学会会報誌「ぷらすとす」のINFORMATION欄へ記事を投稿する場合の原稿作成方法について示したものである。原則として、原稿をWORDファイルにて提出する。WORDの出力がそのまま印刷されるとともに、WORDファイルを用いて行事予定表等を作成するため、初稿の段階から本要領の基準を厳守する。

原稿の執筆に当たっては、当会ホームページよりダウンロードしたINFORMATION欄投稿用の原稿雛形（テンプレート）WORD版の最新版を使用する。

1. 投稿原稿の用紙および体裁

1.1 用紙

A4白紙を使用する。

1.2 体裁

- (1) 用紙設定の上下左右とも20mmの空白部を設ける。
- (2) 左右空白部には、5行おきに行数表記を行う。
- (3) 1段組原稿（主催、共催行事など） 1ページは1行54文字×54行とする。ただし1ページ、もしくは½ページに必ず収めること。

(4) 2段組原稿（支部、分化会・研究委員会からなど） 1ページは1行26文字×54行×2段組みとし、段間は8mmあける。

情報が多など止むを得ない場合は、(1)の1段組原稿を使用しても可とする。ただし、どちらの書式を用いても1ページ、もしくは½ページに必ず収めること。

1.3 本文の書き方

- (1) 字体 本文の字体は明朝体を標準とする。
- (2) 文字の大きさ 本文の文字の大きさは、9ポイントの使用を原則とする。また、欧字・数字は半角文字を原則とする。
- (3) 句読点 句読点は「。」「、」ではなく、「.」「,」（ピリオド、コンマ）を用いる。

2. 注意事項

- (1) 1ページ未満の余白の処理 余白ができる場合には、本文を2段均等に割付け、下部2段を通して余白部を示す横線を挿入する。
- (2) 見本がない原稿に関しては、付録見本に準拠するか、事前に会報誌編集委員会に相談して書き方を決める。

20mm

日本語：MS 明朝 9pt
英数字：TimesNewRoman 9pt
句読点：「」、「」（ピリオド，コンマ）

付録1 塑性加工シンポジウム等企画行事案内の原稿見本

第〇〇〇回塑性加工シンポジウム(ゴシック強調12pt)

「ここまで利用できる超音波」(明朝16pt)

見出し標準 4行ドリ

—〇〇〇〇〇〇〇〇〇—(明朝14pt)

年号表記

ソロエル

日〇時：平成12年 11月 4日(土) 9:20～17:00
 会場：一関工業高等専門学校 [〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨 電話0000-11-2222](所在地は[]で囲む)
 主催：日本塑性加工学会(実行：超音波応用加工分科会)
 協賛：軽金属学会，精密工学会，電気通信情報学会，日本音響学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，溶接学会，日本金属プレス工業協会，粉体粉末冶金協会，自動車技術会，素形材センター
 趣旨：近年，生産加工においては，従来にない高精度な加工，特殊な加工あるいは環境にやさしい加工が要求されている。それらの要求に応えうる加工法の一つとして超音波振動エネルギーを利用した加工法が注目されている。そこで本シンポジウムでは，それらの生産加工に対し超音波がどの様に利用でき，実際にどこまで加工性能向上が図れるのかについて最新的话题をふまえて討論し，将来にわたっての適切な利用法について検討する。

プログラム：開会の辞(9:20～9:30) 超音波応用加工分科会主査 村川 正夫君
 午前の部(9:30～12:00) 司会 日本工業大学 神 雅彦君
 午後の部(13:00～16:40) 司会 東京都立産業技術研究所 加藤 光吉君
 総合討論(16:40～17:00) 司会 ノンク 佐藤 隆君

20mm

20mm

原則 9pt
分量により 8pt可

中細罫線(他は表罫線)
表組は原則 9pt (8pt可)

時間	内容	講師
9:30～11:00	超音波応用加工技術の現状と将来(ゴシック強調9pt) ：塑性加工，切削加工などの生産加工に超音波がどの様に利用でき，どの様な効果が期待できるのかについて，現状技術および将来の可能性を概説する。(明朝9pt)	日本工業大学 氏名 5字ドリ □機械工学科 村川□正夫君
11:00～12:00	バツテッドパイプの超音波引抜き加工 ：肉厚が内，外方向に変化したバツテッド管を引抜き加工することは難しい。ダイスやプラグを超音波振動させながら加工することにより，加工の容易化，工程の簡略化，潤滑性の向上，製品の特性向上等を期待できることが明らかになったので，その研究概要を発表する。	湘南工科大学工学部 □電気工学科 井上□昌夫君
12:00～13:00	昼 食 ・ 休 憩	
13:00～14:00	超音波振動を利用した積層材の穴開け加工 ：超音波振動を加えながら積層材の穴開け加工を行い，積層面での剥離を防止する方法の可能性について概説する。	都立工業高等専門学校 機械工学科 青木□□繁君
14:00～15:00	超音波振動切削加工 ：超音波振動を利用した切削加工法に関して，切削装置および切削性能についての最新技術と今後の利用動向などについて概説する。	日本工業大学 機械工学科 神□□雅彦君
15:00～15:10	休 憩	
15:10～15:50	超音波ねじり振動によるマイクロ焼結ダイヤモンド工具の研削加工 ：直径0.3mm以下の微細穴超音波加工に用いる耐摩耗性の高い焼結ダイヤモンド工具製作のために開発した超音波研削装置とその研削特性および工具寿命等について概説する。	日本電子工業(株) 開発部 小玉 満君
15:50～16:40	超音波微振動複合加工システムによる微小径ドリル加工 ：独自の超音波振動系により微小径の穴加工の実用範囲を拡大した超音波スピンドルユニットおよび加工工具について概説する。	(株)岳将 役職は 代表取締役社長 記載しない 岳 義弘君
16:40～17:00	総合討論 司会 (株)ノンク 佐藤 隆君	

定員：70名(定員超過の場合はご連絡します。)

参加費：	事前申込 (10月28日必着)	10月29日～当日
会員	8,000円	10,000円
一般	12,000円	15,000円

(注)参加費にはいずれもテキスト代含む。学生は半額。協賛学協会は会員扱い。10月28日(必着)までにお申込みください。テキストのみは行事終了後残部があれば対応。

氏名と君の間はあけない

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事のご案内】のページよりお申込みください。

参加券，請求書等をお送りします。なお，お支払いは請求書到着後2週間以内にお願いたします。

申込先：日本塑性加工学会[〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-11 Y・S・Kビル4階] 電話03-3435-8301 FAX03-5733-3730

問合せ先：同上

ソロエル

開催日の1週間前

20mm

教科書「塑性加工入門」 および 教育ビデオ「塑性加工のはたらき」 (DVD復刻版) 会員特価販売のお知らせ

このたび、コロナ社から日本塑性加工学会編「塑性加工入門」が出版されました。

塑性加工は、日本の経済を支えてきた世界に誇れる技術ですが、現在その技術の継承についての課題と、その解決のための工夫や努力が払われてきています。その方法の一つとして、若年層(大学、高専生から高校・中学生)に対する塑性加工のおもしろさを伝えることの重要性も指摘されているところです。

本書はこの目的のため、難解な数式はなるべく用いず、図表や製品例を多用することで塑性加工をわかりやすく、しかも限られた時間で効率よく講義しやすい、教科書として好適な内容・構成としました。さらに、現在の塑性加工には欠くことのできない有限要素法の概説や、最近の塑性加工技術についても紹介されています。

また1983年に製作され各種塑性加工プロセスをビジュアル化したビデオとして評価の高かった「塑性加工のはたらき」を、パソコンでも利用できるようにDVDとして復刻いたしました。100枚限定ながら1,000円という低価格で販売いたします。塑性加工の初学者には「塑性加工入門」の副教材として利用することをお勧めします。

ご購入をご希望の方は、本FAX用紙もしくは電子メール(jstp@jstp.or.jp)にてお申し込みください。

FAX : 03-5733-3730

平成 年 月 日

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 Y・S・Kビル
(一社)日本塑性加工学会 出版事業委員会 行(電話 03-3435-8301)

●「塑性加工入門」(コロナ社)

日本塑性加工学会会員 価格 2,850円(税込) × 冊 = 円

一般 価格 3,150円(税込) × 冊 = 円

●「塑性加工のはたらき (DVD復刻版)」

学会会員および一般 価格 1,000円(税込) × 枚 = 円

(合計金額が5,000円以上は送料無料、5,000円以下の場合実費を請求させていただきます)

● 会員資格：名誉会員・正会員・賛助会員・学生会員・一般(該当するものに○)

● 会員番号： _____

● 氏名 _____ ㊟

● 勤務先住所：〒 _____

● 勤務先 _____

● 所属部課 _____

電話 () FAX () e-mail _____

● 支払方法：振込(振込予定日 月 日) 現金書留(○で囲んでください)

● 振込先：振替 東京 00220-9-14492 口座名義(一社)日本塑性加工学会(振替用紙同封します)

● 通信欄 ・見積書・請求書・納品書 が必要(必要書類を丸で囲ってください)。

・商品送付先が上記住所と異なる場合は、下記にご希望の送付先をご記入ください。

